

もうすぐ1年生

2月7日(金)、小学校で一日入学が行われました。教室に入った子どもたちは、初めは緊張した表情でしたが、先生に元気な返事をほめられると笑顔を見せていました。

また、5年生との交流では、手作りのすごろく遊びを楽しみ、もうすぐ1年生になる期待に胸を膨らませていました。



元気に「鬼は外！」

2月4日(火)、児童館で子育てふれあい広場の豆まきが行われました。

子どもたちは、紙やビニールで作られた鬼めがけて一生懸命豆をまきました。

その後、子どもたちと保護者の皆さんは、お茶やお菓子をいただきながら思い思いに遊んだり、子育ての情報交換などで交流を図りました。



昔遊びを体験

2月12日(水)、小学校1年生66名が生活科の授業で昔の遊びを体験しました。

老人クラブや地域の皆さん12名が講師となり、仙台弁カルタやわらべうた、あやとり、めんこ、おはじき、紙鉄砲などの遊び方を教えてもらいました。

仙台弁カルタでは、聞きなれない仙台弁の響きに笑いながら取り組み、紙鉄砲では大きな音が出ると歓声が響きました。児童たちは、物が無い時代に工夫して遊んだことやルールを決めて楽しむことの大切さなど、遊びを通して学んだようでした。



万葉の里さんぽみち



野菜をたくさん食べてね

1月23日(木)、児童館で村食生活改善推進員が、子育てふれあい広場の「スマイルサロン」に参加した親子に、野菜をたくさん食べられるオススメ料理の試食を提供しました。

「塩分と野菜」についての説明を聞いた保護者は、「子どものころからの食育の大切さを実感した」、「大人の減塩も考えたい」などと話していました。



地場産品野菜等生産者との交流給食会

1月24日(金)、小学校で「地場産品野菜等生産者との交流給食会」を行いました。

地元の産物に愛着を持ってもらうことをねらいとして、1月24日から30日までの全国学校給食週間に合わせて行ったもので、日ごろから給食で食べている野菜の地元生産者3名に参加していただきました。

児童たちは栽培方法や収穫量などについて質問し、生産者の話を熱心に聴いていました。



▲トマト生産法人 株式会社未来彩園の瀬尾誠さん(写真左)

「自分らしく」生きるためのヒント

2月1日(土)、「いきいきキャリアアップ事業 in 大衡」が開催されました。

村内で活躍されている鈴木しず江さん(駒場)、八巻利栄子さん(大和町)をゲストに迎え、女性が『自分らしく生きる』をテーマに、職場の事、家庭の事など、自分の体験談をお話いただき、参加者の皆さんは時折うなずいたりしながら熱心に聴いていました。

また、ワークショップでは、参加者同士で活発に情報交換が行われ、地域で自分らしく働くためのヒントを見つけながら始終笑顔で交流を深めていました。

